

【件名】

市内山間部・隘路におけるスタンドパイプの導入促進について

【内容】

報道によりますと、平成 28 年 4 月 24 日（日）に今泉台町内会自主防災組織がスタンドパイプ（消火栓の水圧を利用した放水設備）の導入に向けた訓練を市内で初めて実施したということで、消防車等の進入が容易でない山間部・隘路における防火体制の充実に大きく資するものと期待しております。

現在、市ではその導入に際して助成等を行っていないとの事ですが、その費用対効果を考えれば、住民に対する教育訓練も含めた予算確保が不可欠と考えられます。

市民の自治意識・防災意識の向上に資するべく、スタンドパイプの導入についてご善処頂けましたら幸いです。

【回答】

本市では、市内の自主防災組織が行う活動の育成及び防災資機材等の設置を推進するため「鎌倉市自主防災活動育成費補助金」により、各自主防災組織に対し補助制度の積極的な活用を呼びかけています。

ご提案のスタンドパイプは、鎌倉市の自主防災組織においては、これまで導入の実績はありませんが、制度上は初期消火用具として補助対象に該当いたします。

スタンドパイプが初期消火や延焼防止に有効であることは市としても認識しているところですが、運用にあたっては、関係機関との調整や取扱訓練の実施など事前の協議が必要となります。

今後、自主防災組織からスタンドパイプの導入についてのご相談があった場合は、地域性や各組織の取組状況などを踏まえて対応してまいります。

平成 28 年 5 月 25 日対応／回答